

## 日銀短観(3月調査)予測

～震災の影響は反映されず、大企業・製造業の業況判断DIは横ばい～

### <業況判断DI>

- (1) 日銀短観3月調査では、大企業・製造業の業況判断DIは+5%ポイントと、前回調査対比横ばいを予想。海外需要の好調を背景に自動車、電気機械などが好転する一方で、資源価格上昇に伴い、化学や非鉄金属などの素材業種が悪化する見通し。
- (2) 一方、大企業・非製造業の業況判断DIについては、不動産、対事業所サービスなどにおけるこれまでの改善傾向持続を反映し+4%ポイントと、前回調査対比+3%ポイント改善すると予想。もっとも、消費マインドに左右されやすい小売、宿泊・飲食サービスなどの業種には、震災の影響が比較的早期に及ぶ可能性。
- (3) なお、今回の予測にあたっては、以下の2点から、3月11日に発生した震災の影響は、一部のサービス業を除き、それほど織り込まれないと想定。
- ① 回答の大半が調査表の回収基準日の3月11日前後に集中したと考えられること
  - ② 未回答企業については、判断項目の集計に含まれず、年度計画の集計においては前回12月調査の値を代入する方法が採られること

(図表1) 業況判断DIの予測

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

		9月	12月	3月	先行き
		(実績)		(今回当社予測)	
製造業	大企業	8	5	5	4
	中堅企業	4	1	2	1
	中小企業	▲14	▲12	▲8	▲7
	全規模	▲4	▲4	▲2	▲2
非製造業	大企業	2	1	4	5
	中堅企業	▲8	▲10	▲8	▲6
	中小企業	▲21	▲22	▲21	▲18
	全規模	▲13	▲15	▲13	▲11
全産業	大企業	5	3	4	4
	中堅企業	▲3	▲6	▲4	▲3
	中小企業	▲18	▲18	▲16	▲14
	全規模	▲10	▲11	▲9	▲7

## <設備投資計画>

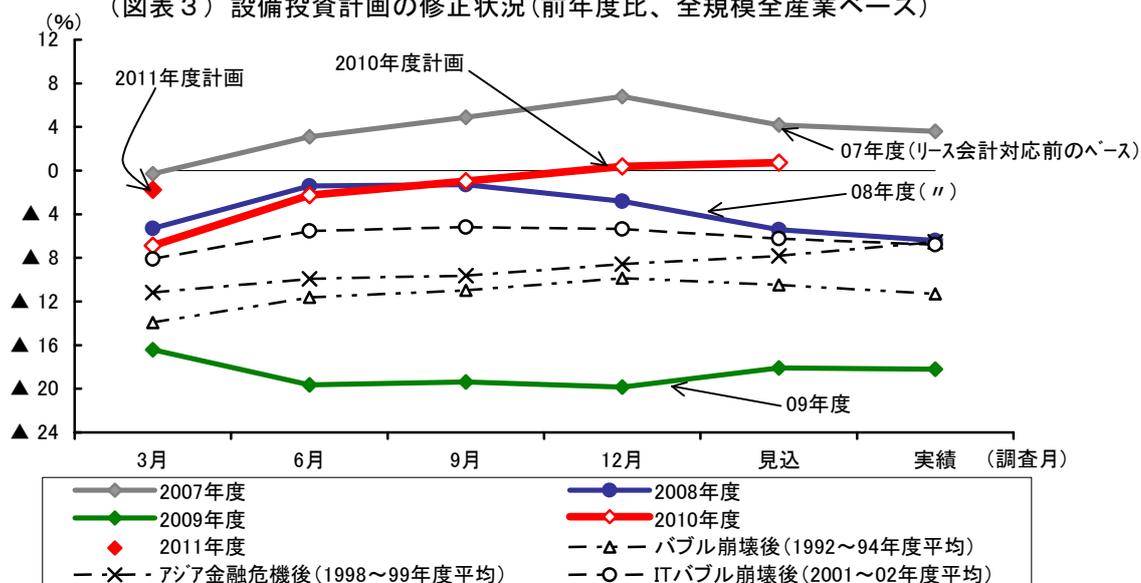
- (1) 今回調査より、2011年度の設備投資計画が発表。震災の影響は織り込まれず、大企業・製造業では、これまでの外需の好調や企業収益の改善を反映し、2010年度に続き年度比+3.0%と、緩やかな回復を予想。大企業・非製造業においても、景気の持ち直しを反映し、前年度比+1.0%と小幅ながら増加の見通し。
- (2) 全産業・全規模ベースでは、中小企業について、3月調査の次年度計画において例年、慎重な見通しが示される傾向があることを踏まえ、前年度比▲1.8%のマイナスとなる見込み。

(図表2) 設備投資計画の予測

		2010年12月短観		<当社予測> 2010年3月短観		
		09年度 (実績)	10年度 (計画)	10年度		11年度 (計画)
				(実績見込)	修正率	
大企業	製造業	▲ 31.4	2.9	2.5	▲ 0.4	3.0
	非製造業	▲ 3.9	3.0	2.4	▲ 0.5	1.0
	全産業	▲ 15.5	2.9	2.5	▲ 0.5	1.7
中堅企業	製造業	▲ 33.1	4.7	5.5	0.7	3.5
	非製造業	▲ 22.5	▲ 7.8	▲ 8.0	▲ 0.2	▲ 7.5
	全産業	▲ 26.5	▲ 3.5	▲ 3.4	0.2	▲ 3.4
中小企業	製造業	▲ 31.7	8.3	10.0	1.6	▲ 15.0
	非製造業	▲ 15.5	▲ 16.1	▲ 10.0	7.3	▲ 20.0
	全産業	▲ 21.5	▲ 8.3	▲ 3.6	5.1	▲ 18.2
全規模	製造業	▲ 31.7	3.9	4.0	0.0	0.5
	非製造業	▲ 8.9	▲ 1.4	▲ 0.9	0.5	▲ 3.0
	全産業	▲ 18.2	0.4	0.7	0.3	▲ 1.8

(注) 土地を含み、ソフトウェアを除くベース。

(図表3) 設備投資計画の修正状況(前年度比、全規模全産業ベース)



(資料) 日本銀行

(注1) 土地投資を含み、ソフトウェア投資・金融機関による投資を除くベース。

(注2) 「見込」は年度末(3月)、「実績」は翌年度入り後(6月)に集計。

(注3) 2010年9月調査における2010年度計画からリース会計対応ベースに一本化。

(注4) 2011年3月時点計画は今回の当社予測値。